吹田市子ども・子育て支援事業計画作成のためのニーズ調査票　(案)

（就学前児童用）

この調査に関するお問い合わせは、こちらまで
吹田市役所　こども部　子育て支援室
電話　０６－６３８４－１４９１

回答される前にお読みください。

本市では、次代を担う子どもたちがすこやかで心豊かに育つよう、また、子どもを産み育てることが喜びとなるよう平成２２年（２０１０年）３月に「吹田市次世代育成支援行動計画（後期計画）」を策定し、この計画に基づき、子ども・子育て支援などに関するさまざまな施策を実施しています。この計画が平成２６年度（２０１４年度）で終了し、子ども・子育て支援に関する新たな制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）が平成２７年度（２０１５年度）から始まることが予定されており、この制度に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定する必要があります。

本調査は、新たな事業計画の策定にあたって、市民の皆様が必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や施策に対する意向を把握するための調査です。本市の施策向上のため、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査内容について

この調査の調査内容は次のとおりです。

１．家庭の基本情報について（問１～問１７）
家族構成や保護者の働いておられる状況など、家庭の基本情報についてお聞きします。ご家庭の状況により必要なサービスは異なってきますので、サービス提供のための前提となる調査です。

２．幼稚園や保育所など定期的に利用したい施設やサービスについて（問１８～問３０）
幼稚園や保育所など定期的に利用したい施設やサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかをお聞きするものです。また、育児休業の取得状況などについてもあわせてお聞きします。ご回答いただいた内容は、待機児童解消のための保育所の整備などに反映されます。

３．一時的な預かりや地域子育て支援センター（保育所）や子育て広場などの子育て支援サービスについて（問３１～問３８）
一時的な預かりや地域子育て支援センター（保育所）や子育て広場など、子育てを支援するサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかなどをお聞きします。ご回答いただいた内容は、子育て支援サービスの充実などに反映されます。

４．子どもや子育て支援に関する意識などについて（問３９～問４６）
子育てについての意識や子育て環境についてお聞きします。子育て支援サービスを展開していくにあたって、前提となる保護者のみなさんの意識などについて把握します。

５．その他について（問４７）
教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関するご意見（自由記述）を把握します。

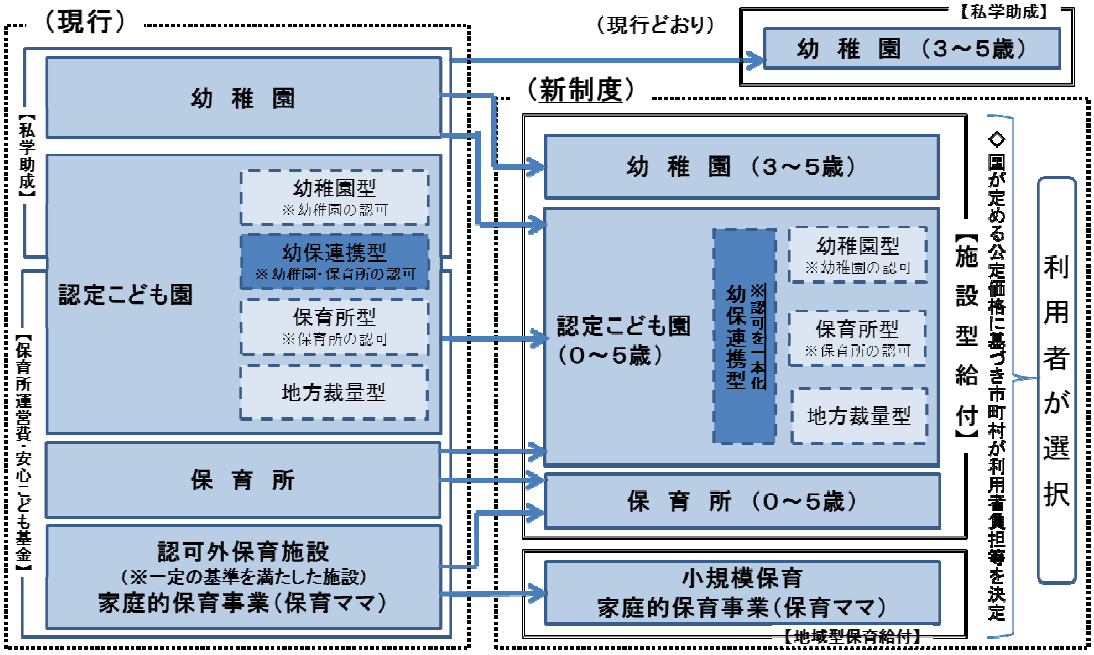
ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

（参考）平成２７年度から実施される「子ども・子育て支援新制度」では、幼稚園と保育所の良さをあわせもつ認定こども園の普及、地域のニーズに応じた多様な子育て支援の充実などの取り組みが実施される予定です。

子ども・子育て支援新制度（概要）

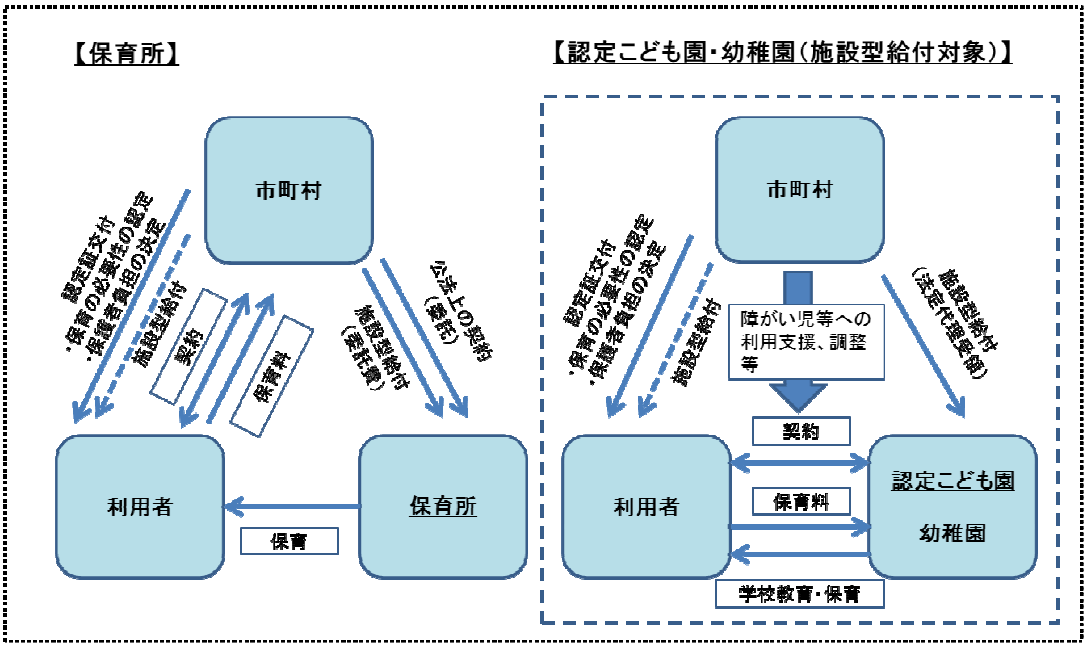
■施設と給付

幼保連携型認定こども園を、単一の施設として認可・指導監督等を一本化。（既存の幼稚園及び保育所からの移行義務付けなし）
認定こども園等のほか、小規模保育等により、量的拡大・質的向上を図るとともに、利用者の多様な保育の選択肢を拡大。



■利用手続き

利用者と施設の契約については、市町村から保育の必要性の認定を受けた0～5歳の子ども、教育のみを提供する3歳以上の子どものいずれについても、市町村の関与の下、利用者が自ら施設を選択し、利用者が施設と契約する仕組みを構築。
ただし、市町村が保育の実施義務を引き続き担うことに基づく措置として、民間保育所については、現行どおり、市町村が利用者負担の徴収を行い、保育所に委託費を支払う。



（参考）子ども・子育て支援新制度の考え方（内閣府、文部科学省、厚生労働省）

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

  地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

（参考）用語の定義

幼　稚　園：学校教育法に定める、３～５歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第 22 条）
保　育　所：児童福祉法に定める、保育に欠ける０～５歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第 39 条）
認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設
（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第２条第６項）
子　育　て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教　　育：問１７までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問１８以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

１．ご家族の構成や保護者の働いている状況などについておうかがいします。

問１ 必須項目	お住まいの地域の小学校区名を記入してください。 （　　）小学校区 小学校区が分からない場合は、町名を記入してください。 （　　） →問２へ
問２ 必須項目	この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 １．母親　　２．父親　　３．その他（　　） →問３へ
問３ 必須項目	封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、枠内に数字を入れてください。 平成・西暦（　　）年（　　）月生まれ →問４へ

問４	封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成２５年４月１日現在の年齢）を記入してください。 （　　）人　　末子の年齢（　　）歳 →問５へ
問５ 府設定	希望として、子どもが何人ほしいですか。 （　　）人 →問６へ
問６ 府設定	もう１人以上の子どもを生みたいと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 １．生みたいと思う ２．生みたいと思わない →「１．」を選ばれた方は問７へ、「２．」を選ばれた方は問６－１へ
問６－１ 府設定	どのような環境が整えばもう１人以上の子どもを生みたいと思いますか。もっともあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 １．保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば生みたい ２．収入が増えれば生みたい ３．働くところが見つかれば生みたい ４．子どもを教育してくれる施設が充実していれば生みたい ５．家族の理解が進めば生みたい ６．その他（　　） →問７へ
問７ 必須項目	封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。 １．父と母と一緒に住んでいる　２．父と一緒に住んでいる（父子家庭） ３．母と一緒に住んでいる（母子家庭）　４．祖父と一緒に住んでいる ５．祖母と一緒に住んでいる　６．祖父が近所に住んでいる ７．祖母が近所に住んでいる ８．その他（　　） →問８へ
問８ 必須項目	封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。 １．父母ともに　２．主に母親 ３．主に父親　４．主に祖父母 ５．その他（　　） →問９へ

問９ 削除可	封筒のあて名のお子さんの子育てや教育に日常的に関わっている人や施設として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。人についての選択肢はお子さんからみた関係です。 １．父母ともに　２．母親 ３．父親　４．祖父母 ５．幼稚園　６．保育所 ７．認定こども園 ８．その他（　　） →問１０へ
問１０ 削除可	封筒のあて名のお子さんの子育てや教育にもっとも影響すると思われるものとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．家庭　２．地域　３．幼稚園 ４．保育所　５．認定こども園 ６．その他（　　） →問１１へ
問１１	日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる ２．緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる ３．日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる ４．緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる ５．いずれもいない →「１．」「２．」を選ばれた方は問１１－１へ、「３．」「４．」を選ばれた方は問１１－２へ、「５．」を選ばれた方は問１２へ
問１１－１ 削除可	子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．ご自身や配偶者の親、親せきなので、安心して子どもをみてもらえる ２．ご自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である ３．ご自身や配偶者の親、親せきの時間的制約が大きく心配である ４．ご自身や配偶者の親、親せきの精神的な負担が大きく心配である ５．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい ６．子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある ７．その他（　　） →問１２へ

問１１－２ 削除可	子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる ２．友人や知人の身体的負担が大きく心配である ３．友人や知人の時間的制約が大きく心配である ４．友人や知人の精神的な負担が大きく心配である ５．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい ６．子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある ７．その他（　　） →問１２へ
問１２	あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 １．いる／ある ２．いない／ない →「１．」を選ばれた方は問１２－１へ、「２．」を選ばれた方は問１３へ
問１２－１	気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．配偶者 ２．ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族 ３．友人や知人 ４．近所の人 ５．地域子育て支援センター（保育所）や子育て広場、児童会館・児童センターなどの子育て支援施設や NPO などの子育て支援団体 ６．子どもの健診などを行ってくれる保健センター ７．幼稚園の先生 ８．保育所の先生 ９．民生委員・児童委員、主任児童委員 １０．かかりつけの医師 １１．市役所の子育て支援担当の窓口 １２．携帯電話やインターネットの交流サイト １３．キンダーカウンセラー（子育て相談を行うため私立幼稚園に配置された臨床心理士等） １４．スマイルサポーター（私立保育所における知事認定を受けた地域貢献支援員） １５．その他（　　） →問１３へ
問１３ 削除可	お子さんの子育てや教育のために、身近な人、市役所の職員などからどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。 ---------- ---------- ---------- ---------- →問１４へ

問１４ 必須項目	封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 【父子家庭の場合は記入不要です。→問１５へ】 １．フルタイムで働いている ２．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中） ３．パート・アルバイトなどで働いている ４．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中） ５．以前は働いていたが、今は働いていない ６．これまで働いたことがない ※「フルタイム」…１週間に５日程度、１日に８時間程度の就労 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労 →「１．」から「４．」を選ばれた方は問１４－１へ、「５．」「６．」を選ばれた方は問１５へ
問１４－１	１週間にどのくらいの日数働きますか。また、１日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。 １週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間 →問１４－２へ
問１４－２	家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（１８：００）のように、２４時間制でお答えください。 家を出る時間（　　：　　）　　帰宅時間（　　：　　） →問１５へ
問１５ 必須項目	封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 【母子家庭の場合は記入不要です。問１４で「３．」「４．」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問１６へ、「５．」「６．」を選ばれた、仕事をお持ちでない方は問１７へ】 １．フルタイムで働いている ２．フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中） ３．パート・アルバイトなどで働いている ４．パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中） ５．以前は働いていたが、今は働いていない ６．これまで働いたことがない ※「フルタイム」…１週間に５日程度、１日に８時間程度の就労 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労 →「１．」から「４．」を選ばれた方は問１５－１へ、「５．」「６．」を選ばれた方は問１７へ

問１５－１	１週間にどのくらいの日数働きますか。また、１日あたりどのくらいの時間働きますか。枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。 １週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間 →問１５－２へ
問１５－２	家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（１８：００）のように、２４時間制でお答えください。 家を出る時間（　　：　　）　　帰宅時間（　　：　　） →問１５で「３.」「４.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問１６へ、それ以外の方は問１８へ
問１６ 必須項目	フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 （１）母親 １．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある ２．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない ３．パート・アルバイトなどで働き続けることを希望 ４．パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい （２）父親 １．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある ２．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない ３．パート・アルバイトなどで働き続けることを希望 ４．パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい ※「フルタイム」…１週間に５日程度、１日に８時間程度の就労 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労 →問１８へ
問１７ 必須項目	働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。 （１）母親 １．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない） ２．１年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい ３．すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい →希望する働き方 ア．フルタイム イ．パートタイム、アルバイトなど →１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

（２）父親

１．子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい
　→希望する働き方
　（ア．フルタイム
　　イ．パートタイム、アルバイトなど）
　→１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

※「フルタイム」…１週間に５日程度、１日に８時間程度の就労
　「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労
→（１）または（２）で「２.」「３.」を選ばれた方は問１７－１へ、それ以外の方は問１８へ

問１７－１

府設定

働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．働かないと、暮らしていけなくなるため
２．将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
３．仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
４．人間関係を広げたいため
５．その他（　　）

→問１８へ

２．封筒のあて名のお子さんが、平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所などについておうかがいします。

問１８

必須項目

平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．利用している
２．利用していない

→「１.」を選ばれた方は問１８－２へ、「２.」を選ばれた方は問１８－１へ

問１８－１

幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
２．ご自身や配偶者の親、親せきがみている
３．近所の人や友人・知人がみている
４．利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない
５．利用したいが、経済的な理由で利用できない
６．利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
７．利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所などがない
８．子どもがまだ小さいため（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている
９．その他（　　）

→問２０へ

問１８－２ 必須項目	封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 【教育・保育】 １．幼稚園（通常の就園時間だけ利用している） ２．幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている） ３．認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育所） ４．認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設） ５・家庭的保育（保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス） ６．事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設） ７．共同保育所（市役所が定める基準を満たした認可外の保育施設） ８．その他の認可外の保育施設 ９．居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス） 【子育て支援】 １０．地域子育て支援センター（保育所）や子育て広場など子育ての仲間が集まる場 １１．ファミリー・サポート・センター（センターに登録している近所の人が子どもをみてくれるサービス） 【その他】 １２．その他（　　） →問１８－３へ
問１８－３ 必須項目	現在利用している幼稚園や保育所などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、１週間に何日利用し、また、１日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように２４時間制で記入してください。 （１）現在 １週当たり（　　）日 １日当たり（　　）時間　（　　：　　）～（　　：　　） （２）希望 １週当たり（　　）日 １日当たり（　　）時間　（　　：　　）～（　　：　　） →問１８－４へ
問１８－４	現在、利用されている施設などはどこにありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。「２．」を選択された方は、その市町村名についても枠内に記入してください。 １．吹田市内（自宅を訪問するサービスも含む） ２．他の市町村（　　） →問１８－５へ

問１８－５

幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用されている理由について、もっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの教育や発達のため
２．保護者が働いている
３．保護者が働く予定である、または、仕事を探している
４．保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
５．保護者に病気や障がいがある
６．保護者が学生である
７．その他（　　）

→問１９へ

３．封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。（平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用している方のみ）

問１９

必須項目

封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。

１．あった
２．なかった

→「１．」を選ばれた方は問１９－１へ、「２．」を選ばれた方は問２０へ

問１９－１

必須項目

この１年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

対処方法	日数（年間）
１．父親が仕事を休んだ	（　　）日
２．母親が仕事を休んだ	（　　）日
３．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	（　　）日
４．働いていない父親か母親が子どもをみた	（　　）日
５．保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	（　　）日
６．ベビーシッターを利用した	（　　）日
７．ファミリー・サポート・センターを利用した	
８．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日
９．その他（　　）	（　　）日
	（　　）日

→「１．」「２．」を選ばれた方は問１９－２へ、「３．」から「９．」を選ばれた方は問１９－５へ

問１９－２ 必須項目	そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。 １．できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい →（　　）日 ２．利用したいと思わない →「１．」を選ばれた方は問１９－３へ、「２．」を選ばれた方は問１９－４へ
問１９－３	利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス ２．小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス ３．ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス ４．民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス ５．その他（　　） →問２０へ
問１９－４	その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である ２．病気の子どもは家族がみるべきである ３．サービスの質に不安がある ４．施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない ５．利用料がかかる、高い ６．利用料がわからない ７．父母が仕事を休んで対応できるため ８．その他（　　） ９．特に理由はない →問２０へ
問１９－５ 削除可	「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい。」と思われましたか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、問１９－１で選ばれた「３．」から「９．」でご記入された日数のうち、仕事を休んでお子さんの看病をしたいと思われた日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。 １．できれば仕事を休んで子どもをみたい　（　　）日 ２．仕事を休んで子どもをみることは非常にむずかしい →「１．」を選ばれた方は問２０へ、「２．」を選ばれた方は問１９－６へ

問１９－６ 削除可	そう思われる理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．子どもの看護を理由にして休みがとれない ２．自営業なので休めない ３．子どもの看護休暇の日数が足りないので休めない ４．その他（　　） →問２０へ

４．平日（月曜日から金曜日）に、封筒のあて名のお子さんに定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについておうかがいします。

問２０ 必須項目	幼稚園や保育所などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するためには、一定の利用料を支払う必要があります。 【教育・保育】 １．幼稚園（通常の就園時間だけ利用） ２．幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して定期的に預かるサービスを利用） ３．認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育所） ４．認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設） ５．小規模な保育施設（主に３歳未満の子どもをおおむね６～１９人預かる施設で、市役所が認可したもの） ６．家庭的保育（保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス） ７．事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設） ８．共同保育所（市役所が定める基準を満たした認可外の保育施設） ９．その他の認可外の保育施設 １０．居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス） 【子育て支援】 １１．地域子育て支援センター（保育所）や子育て広場など子育ての仲間が集まる場 １２．ファミリー・サポート・センター（センターに登録している近所の人が子どもをみてくれるサービス） 【その他】 １３．特になし １４．その他（　　） →問２０－１へ
問２０－１ 削除可	利用を希望している施設やサービスはどこにありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。「２．」を選択された方は、その市町村名についても枠内に記入してください。 １．吹田市内 ２．他の市町村（　　） →問２１へ

５．封筒のあて名のお子さんについて、幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望についておうかがいします。

問２１ 必須項目	封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように２４時間制でご記入ください。なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。 （１）土曜日 １．利用する必要はない ２．ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　） ３．月に１～２回は利用したい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　） （２）日曜日・祝日 １．利用する必要はない ２．ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　） ３．月に１～２回は利用したい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　） →（１）または（２）で「３．」を選ばれた方は問２１－１へ、それ以外の方は問２２へ
問２１－１ 削除可	毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．月に数回仕事が入るため ２．平日にすませられない用事をまとめてすませるため ３．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため ４．息抜きのため ５．その他（　　） →封筒のあて名のお子さんが、幼稚園を利用している方は問２２へ、利用していない方は問２３へ
問２２ 必須項目	夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように２４時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するためには、一定の利用料が必要です。 １．利用する必要はない ２．休みの期間中、ほぼ毎日使いたい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　） ３．休みの期間中、週に数日利用したい 利用したい時間帯（　　：　　）～（　　：　　） →「３．」を選ばれた方は問２２－１へ、それ以外の方は問２３へ
問２２－１ 削除可	毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．週に数回仕事が入るため
２．買い物などの用事をまとめてすませるため
３．ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
４．息抜きのため
５．その他（　　）

→問２３へ

６．育児休業など、仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問２３

封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。父親について、「２．」を選ばれた場合は、育児休暇を取得された、あるいは、取得予定の日数について枠内に数字を入れてください。
また、「３．」「４．」を選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

（１）母親

１．働いていなかった
２．育児休業を取った、あるいは、今取っている
３．育児休業を取らずに働いた
　→　その理由（番号を選択）　（　　）
４．育児休業を取らずに離職した
　→　その理由（番号を選択）　（　　）

（２）父親

１．働いていなかった
２．育児休業を取った、あるいは、今取っている　（　　）日
３．育児休業を取らずに働いた
　→　その理由（番号を選択）　（　　）
４．育児休業を取らずに離職した
　→　その理由（番号を選択）　（　　）

＜　育児休業を取らなかった理由　＞

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．出産後すぐに仕事に復帰したかった
４．仕事に戻るのが難しそうだった
５．昇給・昇格などが遅れそうだった
６．収入減となり、経済的に苦しくなる
７．保育所などに預けることができた
８．配偶者が育児休業制度を利用した
９．配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
１０．子育てや家事に専念するため
１１．職場に育児休業の制度がなかった
１２．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
１３．育児休業を取れることを知らなかった
１４．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らなかった
１５．その他（　　）

→問２３－１へ

問２３－１ 削除可	子どもが１歳（一定の要件を満たす場合は１歳６ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが３歳になるまでの育児休業などの期間について健康保険や厚生年金の保険料が免除になる仕組みがありますが、知っていましたか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 １．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた ２．育児休業給付のみ知っていた ３．保険料免除のみ知っていた ４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった →問２３の（１）、（２）とも、または、どちらかで「２．」を選んだ方は問２３－２へ、それ以外の方は問２４へ
問２３－２	育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つだけを選び、その番号を記入してください。（問２３で、片方が「２．」を選び、もう片方が「２．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。） （１）母親（　　）　　（２）父親（　　） １．育児休業を取ったあと、職場に復帰した ２．現在も育児休業中である ３．育児休業中に仕事をやめた →（１）、（２）とも、または、どちらかで「１．」を選ばれた方は問２３－３へ、（１）、（２）とも「１．」を選ばず、（１）、（２）とも、または、どちらかで「２．」を選ばれた方は問２３－９へ、（１）、（２）とも「３．」を選ばれた方は問２４へ
問２３－３ 削除可	育児休業から職場に復帰されたのは、４月の保育所の一斉入所のときでしたか。あるいはそれ以外のときでしたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つだけを選び、その番号を記入してください。４月からの保育所入所の申し込みをしたうえで、１月～２月ごろに職場に復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合は「１．」を選択してください。また、この場合で、実際には保育所に入れなかったという場合も「１．」を選択してください。（問２３－２で、片方が「１．」を選び、もう片方が「１．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。） （１）母親（　　）　　（２）父親（　　） １．４月の一斉入所のときだった ２．それ以外だった →問２３－４へ
問２３－４	育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのことになりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。（問２３－２で、片方が「１．」を選び、もう片方が「１．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（１）母親

実際の取得期間	（　　）歳　（　　）ヶ月
希望の取得期間	（　　）歳　（　　）ヶ月
	１．満１歳まで
	２．出生後最初の４月の一斉入所時
	３．出生後２度目の４月の一斉入所時
	４．その他（　　）

（２）父親

実際の取得期間	（　　）歳　（　　）ヶ月
希望の取得期間	（　　）歳　（　　）ヶ月
	１．満１歳まで
	２．出生後最初の４月の一斉入所時
	３．出生後２度目の４月の一斉入所時
	４．その他（　　）

→問２３－５へ

問２３－５

職場に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れてください。（問２３－２で、片方が「１．」を選び、もう片方が「１．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

（１）母親

（　　）歳　（　　）ヶ月

（２）母親

（　　）歳　（　　）ヶ月

→問２３－６へ

問２３－６

削除可

希望の時期に職場復帰しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。（問２３－４で、片方が実際の復帰と希望が異なり、もう片方が実際の復帰と希望が同じの場合、もう片方については枠内を空白にしてください。）

【母親、父親とも実際の復帰と希望が同じ方は、問２３－７へ】

（１）「希望」より早く復帰した方

ア．母親　（　　）　　イ．父親　（　　）

１．希望する保育所に入るため
２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった
４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）

	（2）「希望」より遅く復帰した方 ア．母親　（　　）　　イ．父親　（　　） 1．希望する保育所に入るため 2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3．配偶者や家族の希望があったため 4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5．子どもをみてくれる人がいなかったため 6．その他（　　） →問２３－７へ
問２３－７ 削除可	育児休業を終え、職場復帰するときに、短時間勤務制度を利用しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号１つだけを選び、その番号を記入してください。（問２３－２で、片方が「1.」を選び、もう片方が「1.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。） （1）母親（　　）　　（2）父親（　　） 1．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） 2．利用した 3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） →（1）、（2）とも、または、どちらかで「3.」を選ばれた方は問２３－８へ、それ以外の方は問２４へ
問２３－８ 削除可	利用しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。（問２３－７で、片方が「2.」を選び、もう片方が「2.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。） （1）母親（　　）　　（2）父親（　　） 1．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2．仕事が忙しかった 3．短時間勤務にすると給与が減額される 4．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6．配偶者が無職である、祖父母などにみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた 7．子育てや家事に専念するため退職した 8．職場に短時間勤務制度がなかった 9．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10．その他（　　） →問２３－２の（1）、（2）のどちらかで「2.」を選ばれた方は問２３－９へ、それ以外の方は問２４へ

問２３－９ 削除可	封筒のあて名のお子さんが１歳になったときに必ず保育所などに預けることができれば、１歳になるまで育児休業を取りますか。または、保育所などに預けられたとしても１歳になる前に復帰しますか。あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけてください。（問２３－２で、片方が「２．」を選び、もう片方が「２．」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。） （１）母親 １．１歳になるまで育児休業を取りたい　　２．１歳になる前に復帰したい （２）父親 １．１歳になるまで育児休業を取りたい　　２．１歳になる前に復帰したい →問２４へ
問２４ 府設定	１日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。１週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を１つだけ記入してください。 （１）母親 ア．平日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間 番号を選択（　　） イ．休日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間 番号を選択（　　） （２）父親 ア．平日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間 番号を選択（　　） イ．休日　子どもと一緒に過ごす時間　（　　）時間 番号を選択（　　） １．十分だと思う　　２．まあまあ十分だと思う ３．あまり十分だと思わない　　４．不十分だと思う ５．わからない →問２５へ
問２５ 府設定	１日当たりの家事を何時間くらいしますか。１週間の平均的な時間を記入してください。 （１）母親 （　　）時間 （２）父親 （　　）時間 →問２６へ

問２６ 府設定	仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 １．残業や出張が入ること ２．子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと ３．配偶者の協力が得られないこと ４．ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと ５．職場に子育てを支援する制度がないこと （育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など） ６．職場の理解や協力が得られないこと ７．子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと ８．子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと ９．子どもと接する時間が少ないこと １０．その他（　　） →封筒のあて名のお子さんが、５歳未満の方は問３１へ、５歳以上の方は問２７へ

７．封筒のあて名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

問２７ 必須項目	小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する１週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。 「留守家庭児童育成室」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように２４時間制で記入してください。 １．自宅　週（　　）日くらい ２．ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家　週（　　）日くらい ３．留守家庭児童育成室　週（　　）日くらい →　下校時から（　　：　　）まで ４．太陽の広場（こどもプラザ事業）　週（　　）日くらい ５．児童会館・児童センター　週（　　）日くらい ６．習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）週（　　）日くらい ７．ファミリー・サポート・センター　週（　　）日くらい ８．その他（公民館、公園など）　週（　　）日くらい ※「留守家庭児童育成室」…地域によっては学童保育などとよばれています。保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。 ※「太陽の広場（こどもプラザ事業）」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。すべての小学生が利用できます。 →問２８へ

問２８ 必須項目	小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する１週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。 「留守家庭児童育成室」を選択された場合には、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように２４時間制で記入してください。 ※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。 １．自宅　週（　　）日くらい ２．ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家　週（　　）日くらい ３．留守家庭児童育成室　週（　　）日くらい →　下校時から（　　：　　）まで ４．太陽の広場（こどもプラザ事業）　週（　　）日くらい ５．児童会館・児童センター　週（　　）日くらい ６．習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）週（　　）日くらい ７．ファミリー・サポート・センター　週（　　）日くらい ８．その他（公民館、公園など）　週（　　）日くらい →問２７または本問で「３．」を選ばれた方は問２９へ、それ以外の方は問３０へ
問２９	土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童育成室の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に（9:00～18:00）のように２４時間制で入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。 （１）土曜日 １．低学年（１～３年生）の間は利用したい 利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　） ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい 利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　） ３．利用する必要はない （２）日曜日・祝日 １．低学年（１～３年生）の間は利用したい 利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　） ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい 利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　） ３．利用する必要はない →問３０へ

問３０

お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童育成室の利用希望はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、枠内に（9:00～18:00）のように２４時間制で入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい
　利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　）
２．高学年（４～６年生）になっても利用したい
　利用したい時間帯　（　　：　　）～（　　：　　）
３．利用する必要はない

→問３１へ

８．封筒のあて名のお子さんの幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についておうかがいします。

問３１

必須項目

私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。（幼稚園や保育所などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

利用したサービス	日数（年間）
１．一時預かり（私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス）	（　　）日
２．幼稚園の預かり保育（幼稚園に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合）	（　　）日
３．ファミリー・サポート・センター（センターに登録している近所の人が子どもをみてくれるサービス）	（　　）日
４．子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）（仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）	（　　）日
５．ベビーシッター	
６．その他（　　）	（　　）日
７．利用していない	（　　）日

→「１．」から「６．」を選ばれた方は問３２へ、「７．」を選ばれた方は問３１－１へ

問３１－１

削除可

現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．特に利用する必要がない
２．利用したいサービスが近くにない
３．サービスの質に不安がある
４．施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
５．利用料がかかる、高い
６．利用料がわからない
７．ご自身がサービスの対象になるのかどうかがわからない
８．手続きなどサービスの利用方法がわからない
９．その他（　　）

→問３２へ

問３２

必須項目

私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、１年間に何日くらい保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的ごとに枠内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

１．利用したい		合計（　　）日
	ア．買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	（　　）日
	イ．冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	（　　）日
	ウ．不定期な仕事	（　　）日
	エ．その他（　　）	（　　）日
２．利用する必要はない		

→「１．」を選ばれた方は問３２－１へ、「２．」を選ばれた方は問３３へ

問３２－１

問３２の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

１．幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス
２．地域子育て支援センター（保育所）や子育て広場などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス
３．ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス
４．民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス
５．その他（　　）

→問３３へ

問３３

必須項目

この１年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あったか、なかったかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。あった場合、その対処方法ごとに枠内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。

対処方法		泊数（年間）
１．あった		
	ア．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	（　　）泊
	イ．子育て支援短期利用事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設などで一定期間子どもを預かるもの）	（　　）泊
	ウ．イ以外の保育サービス（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した	（　　）泊
	エ．仕方なく子どもを同行させた	（　　）泊
	オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）泊
	カ．その他	（　　）泊
２．なかった		

→「１．」の「ア．」を選ばれた方は問３３－１へ、それ以外の方は問３４へ

問３３－１ 削除可	その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 １．非常に困難 ２．どちらかというと困難 ３．特に困難ではない →問３４へ
９．封筒のあて名のお子さんの地域の子育て支援サービスの利用状況についておうかがいします。	
問３４ 必須項目	子育て支援事業についておうかがいします。現在、子育て支援事業を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、枠内に具体的な数字を入れてください。 １．子育て支援事業 １週間あたり（　　）回　または　１ヶ月あたり（　　）回程度 ２．その他市が実施している類似の事業 （具体名：　　） １週間あたり（　　）回　または　１ヶ月あたり（　　）回程度 ３．利用していない ※子育て支援事業…親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「地域子育て支援センター（保育所）」「子育て広場」などとよばれています。 →問３５へ
問３５ 必須項目	子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。 １．利用していないが、今後利用したい １週間あたり（　　）回　または　１ヶ月あたり（　　）回程度 ２．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい １週間あたり、さらに（　　）回 または　１ヶ月あたり、さらに（　　）回程度 ３．新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない →「１．」「２．」を選ばれた方は問３５－１へ、「３．」を選ばれた方は問３６へ

問３５－１

府設定

子育て支援事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを３つまで○をつけてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

１．常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供
２．子育てに関する相談・援助
３．地域の子育て関連情報の提供
４．子育てに関する講習
５．地域に出向いての交流の場の提供（出張ひろばなど）
６．保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談
７．さまざまな世代との交流の場の提供
８．家庭への訪問支援
９．その他（　　）

→問３６へ

問３６

子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	知っている	利用したことがある	今後利用したい
①母親・父親学級、両親学級、育児学級	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
②保健センターの情報・相談サービス	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
④保育所や幼稚園の園庭などの開放	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑤児童会館・児童センター	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑦自治体が発行する子育て支援情報誌	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑧育児支援家庭訪問事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ

※「育児支援家庭訪問事業」…さまざまな原因で子育ての支援が必要な家庭に子育て経験者による子育ての援助、保健師による訪問指導などを実施する。

→問３７へ

１０．市役所などへの要望についておうかがいします。

問３７

削除可

吹田市における子育て環境や子育て支援への満足度について当てはまる番号に１つだけ○をつけてください。

満足度が低い　⇔　満足度が高い
１　２　３　４　５

→問３８へ

問３８

府設定

市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
２．親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
３．親子が安心して集まれる子育て広場などの屋内の施設を整備する
４．子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
５．子育てに困ったときの相談体制を充実する
６．子育て支援に関する情報提供を充実する
７．子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
８．子育てサークル活動への支援を充実する
９．保育所や留守家庭児童育成室など子どもを預ける施設を増やす
１０．幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
１１．専業主婦など誰でも気軽に利用できるＮＰＯなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
１２．小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
１３．子どもの安全を確保する対策を充実する
１４．子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
１５．育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充
１６．公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
１７．その他（　　）
１８．特になし

→問３９へ

１１．封筒のあて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

問３９

府設定

お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

（１）朝ごはんを食べますか。

１．毎日食べる　　２．食べる日のほうが多い
３．食べない日のほうが多い　　４．ほとんど食べない

（２）１日１回は家族と一緒に食事をしますか。

１．する　　２．しない

（３）平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の１日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

１．３０分以内　　２．１時間以内
３．１時間３０分以内　　４．２時間以内
５．２時間以上

（４）就寝時刻は何時ですか。

１．２０時半より前　　２．２０時半～２１時
３．２１時～２１時半　　４．２１時半～２２時
５．２２時～２３時　　６．２３時以降

→問４０へ

１２．子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問４０

府設定

封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配
２．歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている
３．交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
４．トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
５．授乳する場所や必要な設備がない
６．小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない
７．買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない
８．緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとうるおいがない
９．周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る
１０．荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない
１１．特にない
１２．その他（　　）

→問４１へ

問４１

府設定

お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．満足している　　２．満足していない
３．どちらとも思わない　　４．わからない

→問４２へ

問４２

府設定

お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．近くに遊び場がない
２．雨の日に遊べる場所がない
３．思い切り遊ぶために十分な広さがない
４．遊具などの種類が充実していない
５．不衛生である
６．いつも閑散としていて寂しい感じがする
７．遊具などの設備が古くて危険である
８．緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
９．遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
１０．公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない
１１．遊び場周辺の道路が危険である
１２．遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
１３．その他（　　）
１４．特に感じることはない

→問４３へ

１３．子育てに対する意識についておうかがいします。

問４３ 府設定	近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。 １．いる　　２．いない →問４４へ
問４４ 府設定	ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。 １．楽しいと感じることの方が多い ２．楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい ３．つらいと感じることの方が多い ４．わからない ５．その他（　　） →「１．」を選ばれた方は問４４－１へ、「２．」「３．」を選ばれた方は問４４－２へ、「４．」「５．」を選ばれた方は問４５へ
問４４－１ 府設定	子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。 １．地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など） ２．保育サービスの充実 ３．子育て支援のネットワークづくり ４．地域における子どもの活動拠点の充実（児童会館・児童センターなど） ５．訪問型の支援サービスの充実 ６．健やかな妊娠・出産に対する支援 ７．子どもの教育環境 ８．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 ９．仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備 １０．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 １１．援護を要する子どもに対する支援 １２．その他（　　） →問４５へ

問４４－２ 府設定	問４４で「２.」「３.」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。 １．地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など） ２．保育サービスの充実 ３．子育て支援のネットワークづくり ４．地域における子どもの活動拠点の充実（児童会館・児童センターなど） ５．訪問型の支援サービスの充実 ６．健やかな妊娠・出産に対する支援 ７．子どもの教育環境 ８．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 ９．仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備 １０．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 １１．援護を要する子どもに対する支援 １２．その他（　　） →問４５へ
問４５ 府設定	子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。 （１）子どもに関すること １．病気や発育発達に関すること ２．食事や栄養に関すること ３．子どもとの接し方に自信が持てないこと ４．子どもと過ごす時間が十分取れないこと ５．子どもの教育に関すること ６．子どもの友だちづきあいに関すること ７．子どもの登所・登園拒否や不登校など ８．特にない ９．その他（　　） （２）ご自身に関すること １．子育てに関して配偶者の協力が少ないこと ２．配偶者と子育てに関して意見が合わないこと ３．子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと ４．ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること ５．子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと ６．仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと ７．配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと ８．子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと ９．子育てによる身体の疲れが大きいこと １０．子育てにかかる出費がかさむこと １１．住居がせまいこと １２．特にない １３．その他（　　） →問４６へ

問４６ 府設定	ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。 １．感じる　　番号を選択（　　） ２．感じない　　番号を選択（　　） １．近所の人 ２．同じ世代の子どもを持つ保護者 ３．民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人 ４．地域活動を行っているＮＰＯなどの人 ５．幼稚園、保育所、地域子育て支援センター（保育所）や子育て広場などの職員 ６．市役所の職員 ７．その他（　　） →問４７へ

１４．その他についておうかがいします。

問４７	最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。